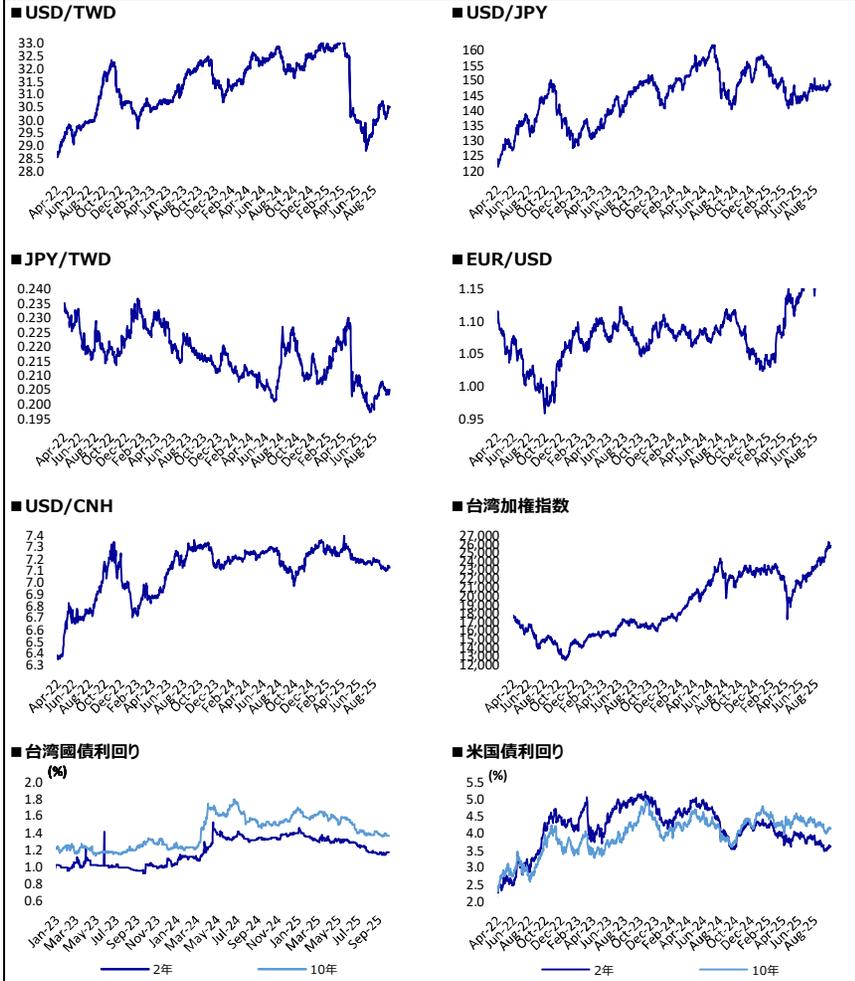


市場動向



先週の市場動向

**■ USD/TWD**  
先週のUSD/TWDは下落。週初9/22、30.260でオープン、台湾株はAI関連銘柄の上昇を受け、TSMC最高値を更新したが、台湾ドルの買いも続かず、30.251でクローズ。9/23、国内投資家の海外投資フローがドル買いの原動力となったため、ドルは強含みで推移、30.294でクローズ。9/24、前日の流れを引き継ぎ国内投資家によるドル買いが加速し、一時30.339まで上昇したが、輸出企業のドル売りが入り、上値を抑えた格好。9/25、30.380でオープン、堅調な米経済指標を背景に、海外市場のドル高を受け、台湾ドルは終始売り優勢の展開、30.438でクローズ。9/26、30.500でオープン、外資や国内投資家による海外送金が優勢となり、ドルは堅調に推移となった一方、月末では輸出企業の外貨売りも入り、台湾ドル下値をサポート。最終的には前週比1.08%ドル高台湾ドル安の30.545でクローズ。週間の外国人投資家の株式売り越し額は340.5億台湾ドル。

**■ USD/JPY**  
先週のUSD/JPYは上昇。週初9/22、148.12でオープン、148円台前半で揉み合う展開。海外時間に入ると147円台後半に値を下げた。9/23、ドル/円は本邦休場で薄商いの中、147円台後半での小動き。海外時間は、パウエルFRB議長によるややハト派な情報発信や米株安などが重しとなり、一時週安値となる147.47円まで下落した。9/24、発表された米経済指標の好調な結果や米金利上昇が好感され、148円台後半に上昇。9/25、ドル/円は材料難の中、148円台後半でレンジ推移。海外時間には米金利上昇につれ、149円台後半まで上昇。9/26日、前日の流れを引き継ぎドル/円は一時週高値149.96円まで上昇。海外時間には予想通りの米国物価関連指標の結果を受け、最終的には前週比1.06%ドル高円安の149.52でクローズ。

**■ USD/TWD 予想レンジ：30.200-30.700**  
今週のUSD/TWDは強含み推移となる予想。先週発表された米国の経済指標は予想を上回る内容が多く、ドルは高値圏での値動きが続いた。今週の注目は米国の雇用統計（非農業部門雇用者数）であり、これがドルのさらなる上昇を後押しする可能性がある。

**■ USD/JPY 予想レンジ：147.00-152.00**  
今週のUSD/JPYはレンジ推移となる予想。日銀の短観（第3四半期）と自民党総裁選の結果が注目されており、これが円相場に影響を与える可能性があります。また、米国の雇用統計も今後の金利動向を占う重要な指標となるため、ドル円相場の方向性を左右する要因となります。

**今週の予想**

9/29 (MON)	台湾休場
9/30 (TUE)	9月日銀金融政策決定会合の主な意見、中国9月製造業PMI、米8月JOLTS求人件数
10/1 (TUE)	中国休場(～8日)、香港休場、米9月ADP雇用統計、米9月ISM製造業景況指数
10/2 (TUE)	米8月製造業受注
10/3 (TUE)	米9月雇用統計、米9月ISM非製造業景況指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。